



新たに搭載した自動位置決め装置(写真上部)

## 藤澤鋼板

# スリッターライン改良

## 刃組み作業を省力化

有力コイルセンターの藤澤鋼板(本社)は千葉県浦安市鉄鋼通り、藤澤鐵雄社長)はこのほど、厚物加工を得意とするスリッターライン「S-1」を改良し、生産性を向上させた。昨年、全面更新した油圧拡張型(HES)のカッタースタンドに「自動位置決め装置」を搭載。刃組み作業の省力化につなげた。

HESタイプは油圧でスリッターナイフを固定するため、一般的なスリッターで必要なスペーサーが不要となり、刃組み作業にかか

イドし、ナイフを固定する位置をミリ単位で正確に指し示す。手作業による負担が軽減されるほか、位置決めデーターも基幹システムから自動転送されるため、人為的ミスを回避できる。

同社は昨年末にHESスタンドを全面更新した。ここ数年は老朽化していたHESスタンドの使用を控え、従来型のスタンドを多用していたが、更新後は2スタンドのフル活用が可能となり、小ロット・短納期対応を含め、受注対応力が向上している。主力の乗用車やトラック向けが堅調に推移する中、さらなる受注拡大を目指す。